

平成30年度

国際地域研究所ミニシンポジウム

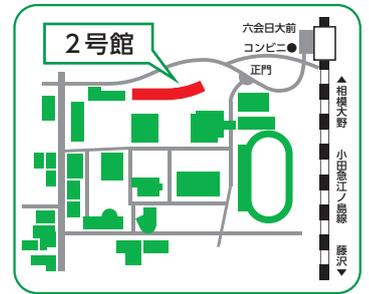
学内の若手・中堅研究者により、
国際地域研究所の新しい方向性を示すキーワード「持続可能性」をテーマにした
キックオフ企画として、ミニシンポジウムを開催いたします。

- ◎日本大学生物資源科学部 2号館 1階 211講義室
- ◎2018年7月5日(木) 14:40～16:40

参加費無料

申し込み不要

対象／学生、教職員、一般 主催／国際地域研究所



小田急江ノ島線「六会日大前」駅下車徒歩5分

プログラム

開会 (14:40-14:45)

座長 川手 督也 (食品ビジネス学科・教授)

基調報告 (14:45-15:05)

「学際的な『持続可能性』研究の重要性 —地球環境と地域社会の未来を考える—

高橋 巖 (国際地域研究所・所長、食品ビジネス学科・教授)

報告1 (15:05-15:25)

「アグロフォレストリーの持続性評価に向けた考察 —タイ北部チャ栽培の事例から—

佐々木 綾子 (国際地域開発学科・助教)

報告2 (15:25-15:45)

「小さいながらも大きなはたらき —バイオ肥料を用いて持続可能な農業を実現させよう—

伊藤 紘子 (生命化学科・助教)

報告3 (15:45-16:05)

「有機農産物市場の成長に求められる条件 —韓国における有機農業の取り組み状況から—

李 裕敬 (国際地域開発学科・専任講師)

報告4 (16:05-16:25)

「農業における新技術の経済評価 —気候変動に対するコメの品種改良を対象として—

阿久根 優子 (食品ビジネス学科・准教授)

座長によるまとめ (16:25-16:35)

平成30年度国際地域研究所事業と公開研究会のお知らせ (16:35-16:40)

閉会 (16:40)

お問い合わせ先：日本大学生物資源科学部 国際地域研究所

TEL 0466-84-3871 URL <http://hp.brs.nihon-u.ac.jp/~rriap/>

申込みは不要です。当日会場へお越しください。駐車場はありませんので電車でご来場ください。